

表紙の人

5月15日、広川町消防団春の全団員訓練が竜光寺公園で行われた。表紙は、土のう積み訓練の様子。

原団長、野中、富久副団長に話を聞いた。

Q 3年ぶりの全団員訓練はいかがでしたか？

富久 いろんな訓練をしたかったので、時間が足りなかったが、良い訓練ができたと思います。

野中 新入団員は、今回が初めての訓練、分団長、副分団長、部長より促していただいたおかげで新入団員の参加が多かった。最初に参加すると、その後も活動に取り組みやすくなるので良かったと思います。

原 コロナ禍も密を避け、分かれて春・秋の訓練、情報伝達訓練は、行ってきましたが、全団員が集まり、ひとつの目標にむかうことが重要だと考えているので、全団員訓練を開催できたことは意義があります。

Q 災害対応や町民へお願いはありますか？

原 要配慮者の対応については、早めの避難しかありません。地域でも把握をしてご確認をお願いします。また区の自主防災組織と分団は、常に良好な関係を維持し、情報を共有することが重要と考えます。

Q 女性消防団の活動について教えてください。

富久 現在女性消防団員は10名です。主に啓発・広報活動を担っています。少年消防クラブの指導や心肺蘇生法の普及、大規模災害時の後方支援、避難所運営の訓練も行っています。

Q 3年ぶりにポンプ操法大会が開催されますがどのような効果を期待していますか？

原 操法大会の在り方については、いろんな意見があり、変化してきています。大会を通して、規律や技術の向上を図り、なにより、分団の士気向上、精神的な結束、そしてリーダーの育成を期待しています。

Q もっと、たくさんの人に消防団活動を経験してほしいですね。

野中 地域のコミュニティも薄れてきているかもしれません。ある地域ではアンケートをとった結果、入団されたケースがあります。

活動をしつかりアピールすることも重要かと思っています。

富久 最近では外国籍の方や学生の入団もありました。18歳以上であればよいので地域に貢献したいという思いのある方は、ぜひ手をあげていただきたいです。

Q 最後に町民へメッセージを。

原 近年の災害は大規模化・複雑化しています。消防団では防災のための啓発・広報活動を第一に発生時の準備・対策・訓練を行っています。町民の皆様も「自分の命は自分で守る」という意識を常にもっていただくことをお願いします。



ポンプ車の中継訓練 150メートル先に放水中

次回の定例会予定

9月6日(火)～9月20日(火)

一般質問 9月6日(火)・7日(水)

※変更となることがあります。

☎ 32-0109 (議会事務局)

議会広報調査特別委員会

委員長	丸山 幸弘
副委員長	山下 茂
委員	野田 成幸
委員	原野 利男
委員	江藤美代子
委員	栗原 福裕